

# 「どこにもないクリニックづくり」に 最後まで寄り添ってくれたスタジオ・エス

クリニック「THE ONE.」の開院準備が実際にスタートしたのは2020年7月頃。スタジオ・エスでは、上原様が目指す理想のクリニックづくりに向けて、数か月間にわたりデザイン・内装などをお手伝いさせていただきました。上原様が開院するにあたりクリニックづくりに込めた想いとは。また、スタジオ・エスをご提供できた仕事の価値とは。インタビューを通じて、上原様ご本人にお話しをお伺いしました。

## Section 01



目指したのは

業界の常識

を覆す

Q ささまざまなクリニックで勤務され、多くの患者の皆様と関わってこられた上原様ですが、ご自身のクリニックを開院するにあたり、どのような想いをお持ちでしたでしょうか。また目指すべき空間づくりとはどのようなものだったのでしょうか。

開院に向け常々考えていたことは、まず「どこにもないクリニック」をつくりたいということでした。私自身、美容医療業界でのキャリアは10年以上になります。これまで勤めてきたクリニック、もしくは訪れたことがあるクリニックまで含めると、かなりの相当数にのぼります。結果として、私の頭のなかには、「一般的な美容クリニックはこのようなものだろう」という基準ができあがっていました。一方で、自分がクリニックを開院する際には、理想を追求したい、絶対に妥協したくないと考えていました。美容医療業界の常識をまったく無視したところで、患者の皆さんをおもてなしできる「どこにもないクリニック」をつくるというのが、私の譲れない思いだったのです。そこで、その想いを理解してくれるスタジオ・エスに、クリニックづくりの仕事を依頼することになりました。

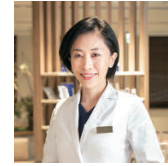
Q 「一般的なクリニックの基準」という表現がございましたが、これまで見てきたクリニックに対してどのような違和感を抱えていましたか。

多くのクリニックは「張りぼて」という印象を拭えませんでした。もう少し率直に表現してしまえば、安っぽいキャバクラのようなイメージです（笑）。クリニックに足を踏み入れた時、一瞬、見た目はすごくキレイだったりする。例えば、エントランスがすごく豪華だったり、シャンデリアが飾ってあって華やか。しかし、実際にカウンセリングや施術を受けるために奥まで入ってみると、壁が薄かったり、椅子が快適でなかったりして、細部まで配慮が行き届いてないケースがとても多いと感じていました。

Q 上原様のお話をお聞きしていると、美容医療業界の常識を変えていきたいという強い想いを感じます。また、既存の美容クリニックのように美という価値を表面的に提供するのではなく、医療としての価値をしっかりと提供されたいという信念も伝わってきます。そのような部分は、クリニックづくりでも強く意識されたのでしょうか。

はい。美容クリニックは、美容院ではないし、エステサロンでもありません。美容を扱う「医療機関」です。美しさを求める患者の皆様に対しておもてなしを提供すると同時に、安心・安全な医療を提供しなければならない場所でもあります。そのため、見た目ばかりの張りぼてではなく、しっかりと設備や配慮が行き届いた空間づくりが絶対に必要です。ただ残念ながら、多くのクリニックはそうではありませんでした。「THE ONE.」は、それら美容 × 医療の価値を両立できるよう、しっかりとこだわりを貫いています。業界的にまったく前例のないことだと思いますし、できあがったクリニックに来ていただければ、その“特別感”を感じてもらえるはずですよ。

## 「どこにもないクリニック」



美容評論家  
上原 恵理

形成外科医・美容外科医・皮膚科医、そして美容評論家として、人気バラエティー番組『ホンマでっか!?TV』（フジテレビ）、書籍執筆、週刊誌のコラム連載などメディアで大活躍の上原恵理様。“えりりん”の愛称で、多くの患者・ファンの皆様に親しまれる上原様は、2021年3月1日に、自身のクリニック「THE ONE.」を東京都港区虎ノ門にて開院されました。



Q 3月1日から開院され、すでに患者の皆様も実際に足を運んでらっしゃるかと思えます。実際に、「THE ONE.」を訪問された方々の反応はいかがでしょう。

本当にうれしいことなのですが、みなさん様に「びっくりした」とお話ししてくれます。私はSNSを使って皆様と頻繁にコミュニケーションを取る方で、「THE ONE.」についても工事中から少しずつ情報を配信していました。それでも、実際に来てみて想像以上だと多くの方々から評価いただいています。皆様からいただいた評価のおかげで「ここまでつくりこんでいるクリニックは他にない」と、私自身も強く自信を持つことができている。

「どこにもないクリニック」

とスタジオ・エスが提供した

Q 上原様が抱えていらっしゃいました、「どこにもないクリニックづくり」という想いをカタチにしていく上で、スタジオ・エスはどのような価値を提供できたでしょうか。

想いをカタチにするという口で言うのはとても簡単ですが、それを実際に行動に移すとなるととても大変だと思います。スタジオ・エスには、開院までの道のりのなかで、柔軟かつクリエイティブに、また時に私の心変わりやわがままについても、気持

ちよく聞き入れていただきました。正直、途中で無茶な要求もありました。ある段階まで納得していても、完成に近づくにつれ、内装やインテリアを大幅に調整したいと思いつことがあったんです。スタジオ・エスの皆様も、心の中では、すべて聞き

入れるのは「難しいな」と感じていらしたのではないのでしょうか(笑)。それでも、最後の最後までやり抜いていただきました。その対応力は、他社にはない高い価値だと思います。



Q スタジオ・エスが上原様の考えに対応する上で、具体的にリクエストしたことなどはありますか。もしエピソードがあれば教えてください。

一般的に、クリニックづくりに慣れている内装業者だと、決まりきったフォーマットのようなデザインが先にあり、そこに向けて完成を目指すことがしばしばあります。もちろん、多少のアレンジは対応いただけるのですが、今回、私は自分の構想を一般的な型にはめたくはありませんでした。スタジオ・エスには、「どこにもないクリニック」というテーマを最後まで掘り下げていただき、前例のないデザインも考慮していただきました。

私は「どこにもないクリニック」は、「本物の上質感」に裏打ちされるべきだと考えていました。「本物の上質感」は、一朝一夕で簡単にイメージしたり、理解することはできません。良いものを見て、感じるという作業を蓄積しないとダメなんです。私は学生時代から今でも旅行することが大好きです。ショッピングなどはまったく興味がなく、特に楽しみに、そして大切にしているのが、ホテルを選ぶこと、そして歴史ある美術館など世界遺産を巡ることでした。世界

的にいえば、アマンホテルの内装や雰囲気がとても好きです。もう少しマニアックなところだと、ソウルにあるパークハイアットソウルや、アブダビのエミレーツパレスなどもすごく居心地がよかったです。

私は自分が感じた本物の上質感を共有してほしくて、スタジオ・エスのスタッフの方々にいろいろな場所を見て回ってほしいリクエストしました。そうしたイメージの共感を、クリニックづくりに活かしていただきました。

Q 最後にスタジオ・エスにメッセージをお願いしますか

スタジオ・エスには、スタッフの方々が燃え尽きてしまうくらいに、ゼロベースから最後まで付き合ってくださいました(笑)。おかげさまで、「どこにもないクリニック」という私の当初のイメージに、限りなく近づけたと思っています。「THE ONE.」で、これからも患者の皆様をおもてなしできると思うととても楽しみです。ありがとうございました。

「YORISOI」

の価値



Design



株式会社 studio S

✉ info@stu-s.co.jp

☎ 03-6459-2722